



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 レンゴー株式会社

コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 大坪 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 取締役兼執行役員 (氏名) 岡野 幸男

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	270,549	1.8	13,724	135.2	14,061	120.1	8,729	149.1
28年3月期第2四半期	265,844	1.8	5,834	80.8	6,389	86.1	3,504	75.1

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 801百万円 (△50.9%) 28年3月期第2四半期 1,633百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	35.26	—
28年3月期第2四半期	14.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	639,377	220,418	33.6
28年3月期	644,690	221,733	33.5

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 214,781百万円 28年3月期 215,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	558,000	4.8	24,000	52.6	24,000	44.3	14,500	47.7	58.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	271,056,029 株	28年3月期	271,056,029 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	23,456,077 株	28年3月期	23,442,127 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	247,605,996 株	28年3月期2Q	247,646,621 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
連結および個別決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、好調な企業収益を背景とした設備投資の持ち直し、底堅い個人消費などにより、弱含みながらも緩やかな回復基調を維持しました。

このような経済環境の中で、板紙業界におきましては、段ボール原紙の堅調な需要に加えて、輸出も引き続き好調であったことから、生産量は前年を上回りました。

段ボール業界におきましては、天候不順等の影響により青果物向けは低迷したものの、景気の回復基調を背景として、生産量は前年を上回りました。

紙器業界におきましては、ギフト関連需要の縮小、軟包装など他素材へのシフトの影響などにより、生産量は前年を下回りました。

軟包装業界におきましては、食品や日用品向けの底堅い需要に支えられ、生産量は前年を上回りました。

重包装業界におきましては、原子力発電所事故関連の除染用コンテナバッグの需要減が続いていることなどから、生産量は前年を下回りました。

以上のような状況の下で、当社グループは、あらゆる産業の全ての包装ニーズに対して、総合的なソリューションを提案する企業グループ「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」として、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心とするヘキサゴン経営をさらに発展させるべく、パッケージングのイノベーションを通じた営業力の強化をはじめ、積極的な設備投資やM&A、事業の再編等により、業容の拡大と収益力の向上に鋭意取り組んでまいりました。

より少ない資源で大きな価値を生む“Less is more.”をパッケージづくりの基本として、流通現場の効率化に貢献する「リテールメイト」シリーズに象徴される革新的な製品開発を進めるとともに、積極的なプロモーションにより受注の拡大に努めました。

本年4月、山陽自動車運送株式会社(大阪府東大阪市)が、兵庫県東部3拠点の統合による輸送品質の向上を目的に新たに神戸支店(神戸市中央区)を開設したほか、5月には、江蘇中金瑪泰医薬包装有限公司(中国・江蘇省連雲港市)が、成長著しい中国医薬品市場での業容を拡大すべく医薬包材の新工場を増設し、8月には、関東地区における段ボール製品供給体制の充実を図るため、セツカートン株式会社(兵庫県伊丹市)が新東京工場(埼玉県川口市)を開設しました。

また、10月には、重量物段ボールで世界的なブランドを有し、アジアとヨーロッパ各国で事業を展開するTri-Wallグループの持株会社Tri-Wall Holdings Limited(英国領ケイマン諸島)を子会社化しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は270,549百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は13,724百万円(同135.2%増)、経常利益は14,061百万円(同120.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,729百万円(同149.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量の増加やエネルギー価格の低下等により、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は190,026百万円(同4.4%増)、営業利益は8,481百万円(同189.0%増)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、コンビニエンスストア向けの需要増やコスト改善効果により、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は33,610百万円(同4.0%増)、営業利益は2,773百万円(同29.6%増)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、除染用コンテナバッグの需要が減少したものの、原料価格の低下やコスト改善効果により、減収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は20,102百万円(同3.2%減)、営業利益は1,372百万円(同123.1%増)となりました。

[海外関連事業]

海外関連事業につきましては、円高の進行による為替の影響もあり減収となりましたが、軟包装事業が堅調に推移したこと等により営業黒字となりました。

この結果、当セグメントの売上高は11,680百万円(同17.0%減)、営業利益は227百万円となりました。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、洋紙事業からの撤退に加え、不織布事業・運送事業の採算改善により、減収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は15,129百万円(同9.6%減)、営業利益は822百万円(同334.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の減少により、639,377百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,313百万円減少しました。

負債は、主に当社の社債償還により、418,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,997百万円減少しました。

純資産は、主に為替レートの変動に伴う為替換算調整勘定の減少により、220,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,315百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は33.6%となり、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多いため、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これに伴う四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,405	19,168
受取手形及び売掛金	148,708	150,217
商品及び製品	18,476	18,949
仕掛品	2,307	2,232
原材料及び貯蔵品	15,251	14,277
繰延税金資産	3,388	3,756
その他	5,535	5,332
貸倒引当金	△575	△511
流動資産合計	214,497	213,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	210,178	215,463
減価償却累計額	△131,239	△135,532
建物及び構築物 (純額)	78,938	79,930
機械装置及び運搬具	438,763	447,892
減価償却累計額	△343,906	△353,627
機械装置及び運搬具 (純額)	94,857	94,264
土地	106,274	107,470
建設仮勘定	5,042	4,231
その他	28,343	28,701
減価償却累計額	△20,172	△20,605
その他 (純額)	8,171	8,096
有形固定資産合計	293,282	293,992
無形固定資産		
のれん	2,564	2,433
その他	6,354	5,997
無形固定資産合計	8,919	8,431
投資その他の資産		
投資有価証券	107,591	105,072
長期貸付金	3,108	1,257
退職給付に係る資産	1,568	1,873
繰延税金資産	583	572
その他	16,467	15,847
貸倒引当金	△1,329	△1,092
投資その他の資産合計	127,990	123,529
固定資産合計	430,192	425,953
資産合計	644,690	639,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,356	85,238
短期借入金	113,785	112,889
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払費用	19,584	20,853
未払法人税等	4,928	5,003
役員賞与引当金	158	-
その他	21,485	22,491
流動負債合計	251,299	246,477
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	103,398	103,626
繰延税金負債	12,304	12,422
役員退職慰労引当金	886	900
退職給付に係る負債	12,105	12,995
その他	7,961	7,537
固定負債合計	171,657	172,481
負債合計	422,956	418,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	34,051	34,127
利益剰余金	131,095	137,881
自己株式	△11,925	△11,934
株主資本合計	184,288	191,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,556	21,153
繰延ヘッジ損益	△8	△373
為替換算調整勘定	10,437	2,154
退職給付に係る調整累計額	689	706
その他の包括利益累計額合計	31,674	23,641
非支配株主持分	5,771	5,636
純資産合計	221,733	220,418
負債純資産合計	644,690	639,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	265,844	270,549
売上原価	223,980	220,029
売上総利益	41,864	50,520
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	7,684	8,033
給料及び手当	10,617	11,028
のれん償却額	729	606
その他	16,997	17,127
販売費及び一般管理費合計	36,029	36,795
営業利益	5,834	13,724
営業外収益		
受取利息	192	187
受取配当金	780	911
為替差益	37	-
負ののれん償却額	25	22
持分法による投資利益	628	606
その他	1,042	932
営業外収益合計	2,708	2,660
営業外費用		
支払利息	906	759
為替差損	-	486
その他	1,247	1,077
営業外費用合計	2,153	2,323
経常利益	6,389	14,061
特別利益		
固定資産売却益	6	93
受取保険金	375	-
その他	465	20
特別利益合計	847	114
特別損失		
減損損失	13	250
固定資産除売却損	437	206
その他	336	208
特別損失合計	788	665
税金等調整前四半期純利益	6,449	13,510
法人税、住民税及び事業税	3,046	4,829
法人税等調整額	△360	△422
法人税等合計	2,685	4,407
四半期純利益	3,763	9,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	373
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,504	8,729

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,763	9,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,711	588
繰延ヘッジ損益	△3	△343
為替換算調整勘定	385	△4,440
退職給付に係る調整額	93	14
持分法適用会社に対する持分相当額	105	△4,119
その他の包括利益合計	△2,130	△8,300
四半期包括利益	1,633	801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,443	709
非支配株主に係る四半期包括利益	189	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	181,931	32,332	20,764	14,078	249,106	16,738	—	265,844
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	795	23	682	2,923	4,425	10,762	△15,188	—
計	182,726	32,355	21,447	17,001	253,531	27,501	△15,188	265,844
セグメント利益 又は損失(△)	2,935	2,140	615	△135	5,555	189	89	5,834

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械、洋紙の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益又は損失(△)の調整額89百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	190,026	33,610	20,102	11,680	255,420	15,129	—	270,549
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	657	43	392	1,865	2,957	11,665	△14,622	—
計	190,683	33,654	20,494	13,545	258,378	26,794	△14,622	270,549
セグメント利益	8,481	2,773	1,372	227	12,854	822	47	13,724

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額47百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年5月13日付にてTri-Wall Asia Limitedと個人株主2名が保有するTri-Wall Holdings Limitedの全ての普通株式(9,268,536,205株)の取得につき、株式譲渡契約を締結しておりました。同契約に基づき、中華人民共和国商務部の承認を受け、平成28年10月27日に株式取得が完了しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称およびその事業の内容

被取得企業の名称 Tri-Wall Holdings Limited  
 事業の内容 重量物包装資材の製造・販売事業を統括するTri-Wall Limitedの株式を100%保有

(2) 企業結合を行った主な理由

重量物段ボールの世界的ブランドであるTri-Wall製品を当社グループの製品ラインアップに加えることで、当社グループのコア事業のひとつである段ボール事業を強化し、より一層の業容拡大、業績向上につなげていくためであります。

(3) 企業結合日(株式取得日)

平成28年10月27日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	221,750千米ドル	(22,872百万円)
取得原価		221,750千米ドル	(22,872百万円)

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定しておりません。

平成28年11月2日  
レンゴー株式会社

4. 補足情報

連結および個別決算概要

(1) 連結業績

(単位：百万円 %)

	27年9月期	28年3月期	28年9月期	前年同期比	29年3月期 予 想	前年比
売上高	265,844	532,534	270,549	+ 1.8	558,000	+ 4.8
営業利益	5,834	15,727	13,724	+ 135.2	24,000	+ 52.6
経常利益	6,389	16,633	14,061	+ 120.1	24,000	+ 44.3
親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益	3,504	9,816	8,729	+ 149.1	14,500	+ 47.7
1株当たり四半期 (当期)純利益	14円15銭	39円64銭	35円26銭	+21円11銭	58円56銭	+18円92銭
設備投資額	12,650	29,656	15,823	+ 25.1	30,500	+ 2.8
減価償却費	14,740	29,333	14,244	△ 3.4	30,000	+ 2.3

(2) 個別業績

(単位：百万円 %)

	27年9月期	28年3月期	28年9月期	前年同期比	29年3月期 予 想	前年比
売上高	136,857	274,247	144,054	+ 5.3	292,000	+ 6.5
営業利益	740	2,734	5,067	+ 584.7	10,000	+ 265.8
経常利益	1,678	3,532	6,442	+ 283.9	11,000	+ 211.4
四半期(当期) 純利益	1,176	2,127	4,620	+ 292.9	8,000	+ 276.1
1株当たり四半期 (当期)純利益	4円75銭	8円59銭	18円66銭	+13円91銭	32円31銭	+23円72銭
設備投資額	5,628	13,872	5,824	+ 3.5	11,000	△ 20.7
減価償却費	7,094	14,947	7,233	+ 2.0	15,000	+ 0.4